

事務事業 No./名 称	■サービス部門 こども-18 育児家庭支援事業 □支 援 部 門						
主管課	こども相談課	関連課	こどもみらい課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	市民同士による相互援助活動(ファミリーサポートセンター事業)を通じて、育児・介護の支援充実を図る。						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数		2,887人				
運営資源 状 況	決算値(千円)	11,377	8,532	8,552			
	(国・県)	9,529	7,906	8,552			
	(負担金等)						
	(一般財源)	1,848	626	0			
	人員配置数	0.8	0.5	0.5			
	人件費(千円)	6,429	4,321	4,412			
	協働の パートナー	NPO法人 ふぁみりい	NPO法人鎌倉市ファミリー サポートセンター市民会議	NPO法人鎌倉市ファミリー サポートセンター市民会議			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	17,806	12,853	12,964			
	市民1人当 りの経費(円)	100	73	73			
	対象者1人 当りの経費(円)		4,452				
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
支援会員数及び依頼会員数	◎	目標値	2,120	2,120	2,120	2,120	2,120
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	2,514	2,799	2,887	3,014	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止									
育児家庭支援事業	11,377千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	子育て家庭の育児や高齢者等のいる家庭で支援を必要としている者とその手伝いをしたい者が助け合うファミリーサポートセンターを運営する。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	支援会員の増加等のため、さまざまな広報の手段や機会を捉えて広報経路の拡大を図るとともに、支援活動の魅力を伝えていく必要がある。また、介護について関係する高齢者いきいき課等との連携を強化する必要がある。		
課題解決のための取組	ふぁみさぼ通信の中で支援活動の魅力を積極的に発信し、支援会員の増加に努めた。また高齢者いきいき課との情報共有に努めた。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	依頼会員の増加およびニーズの多様化に対応するため、窓口配付や広報に限らない周知活動を行いさらなる支援会員の増加を図る必要がある。また、介護については、ひとり暮らし老人等への支援ができる体制の検討のため、高齢者いきいき課とのさらなる連携が必要である。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性	○		 A	課長等名
		③有効性	○			こども相談課長
		④公平性	○			福谷 日登志

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
育児家庭支援事業	主な個別事業	1222 ファミリーサポートセンター運営委託料	10,752	10,752	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							